

令和5年度大和市文化芸術顕彰受賞者

「大和市文化芸術顕彰」とは、平成21年12月に制定した大和市文化芸術振興条例に基づき実施しているものです。毎年優れた創造活動を行っている芸術家や大和の文化芸術の発展に貢献した方を表彰しています。

文化芸術賞

文化芸術の分野における活躍が顕著で、その功績を称えることが、市の文化芸術の振興に寄与するものと認められる方に贈られる賞です。



のうじま はまえ

能島 浜江

日本画家

市内在住、多摩美術大学大学院修了（日本画）。日展特別会員、新日春会会員。また、日展審査員（2011年、2015年、2019年、2023年）を務める。1990年に日展初入選、以後毎年入選し、2004年と2007年に特選、2022年には、第9回日展東京都知事賞を受賞した。その他、1994年に神奈川県美術展県議会議長賞、2016年には、第9回菅楯彦大賞百花堂賞等、数々の賞を受賞するなど本市を代表する日本画家の一人。2012年～2021年まで大和市文化祭一般公募展絵画の部審査員を務め、本市の文化芸術の振興に尽力する。

文化芸術振興賞

市の文化芸術の振興に長きにわたって貢献し、その功績を称える必要があると認められる方に贈られる賞です。



こんの たんけい

今野 淡圭

大和民謡民舞協会 初代会長

市内在住、1974年に大和市における民謡・民舞のさらなる発展を図るため、大和民謡民舞協会の設立に尽力。設立時から会長に就任し、民謡・歌謡の唄と踊りの会主や先生を束ねる。以来40年以上にわたり尺八・民謡唄の指導を行っている。現在は、相談役として同協会の運営に携わっており、今年6月に開催された大和民謡民舞協会春季大会は90回目の開催を迎え、多くの市民に伝統文化の鑑賞機会を提供するなど、引き続き、大和市の文化芸術の振興や後進の指導に関わっている。

文化芸術未来賞

未来の活躍が期待され、その活動を称えることが、受賞者の活動を後押しし、ひいては市の文化芸術の振興に貢献すると期待できる方に贈られる賞です。



よしざわ のぶたか

吉澤 延隆

箏奏者

市内在住、東海大学大学院芸術学研究科修士課程修了。2008年第15回賢順記念全国箏曲コンクールにおいて、賢順賞（第1位）を受賞。2023年に日本とコーカサス3か国の外交関係樹立30周年を記念した外務省「コーカサス文化観光交流フェスティバル」にて箏独奏コンサートとワークショップを行う。2021年より、異なる分野のアーティストや専門家をつなぐコンサート・プロジェクト「NOBU-LAB.」（ノブラボ）を自ら企画し、やまと芸術文化ホールで、邦楽や現代音楽、ダンス、などジャンルの垣根を越えた共演を通して、子どもと大人が一緒に箏の音楽を楽しめる企画を実施するなど、今後の活躍が期待される。